

2014年（平成26年）年頭にあたって

病院長 仙賀 裕

はじめに

新年明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い致します。年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平成25年は辻堂に徳洲会病院が移転した後の茅ヶ崎市民、患者さんの受診医療機関再構築の年でした。

平成24年10月1日茅ヶ崎徳洲会病院は湘南藤沢徳洲会病院として辻堂に移転しました。移転を念頭におき、当院は二次急性期病院に特化すべく、集中治療室の設置、地域医療支援病院の承認、地域医療連携室の拡充、手厚い看護を行うための7対1の看護師配置、救急医療体制の充実、茅ヶ崎医師会および登録医との連携の促進、近隣の急性期病院との連携等を図り、移転後の平成25年は茅ヶ崎市民、患者さんには急性期医療に不便を感じることなく過ごせていただけたのではないのでしょうか。

ところで、国の社会保障制度審議会医療部会は平成25年6月から医療提供体制の改革の具体的な内容について議論を深め、医療法等改正に関する意見を取りまとめ、12月27日厚生労働省に提出しました。医療制度見直しが必要な事項についての医療法改正案が次期通常国会に提出されると思われまます。意見書の基本的な考え方と法律改正に伴い、当院の在り方、病院運営・経営を時代のニーズに合うものに変えていかなければなりません。



基本的な考え方は高齢化が進展し、医療・介護サービスの需要が増大していく中で、患者さんそれぞれの状態にふさわしい良質かつ適切な医療を効果的かつ効率的に提供する体制を構築することです。そのためには、医療機能の分化・連携を進め、各医療機能に応じて必要な医療資源を適切に投入し、入院医療全体の強化を図るとともに、退院患者さんの生活を支える在宅医療及び介護サービス提供体制を充実させていくことが必要であるとされています。これは正に当院、茅ヶ崎市、茅ヶ崎医師会等関係組織が目指している方向と一致しています。茅ヶ崎市民が今後も住み慣れた地域、自宅等で安心して生活が続けられるようにするために地域包括ケアシステム、急性期、回復期、慢性期等、医療提供体制の確立が急務です。地域の中で医療と介護サービスが一体的に提供されるよう、医療と介護の連携を更に推進する必要があります。今後、茅ヶ崎市で認知症高齢者、単身や夫婦の高齢者世帯が増加していくことも踏まえれば、この数年以内に全国に先駆けて構築しなければならないと思われまます。当院としては、二次救急医療病院に特化しつつも、紹介・逆紹介等地域医療支援病院として地域医療

連携室の機能をさらに向上させ、在宅医療・介護サービスの太いパイプになり、地域住民、患者サービスに努めていかなければなりません。

具体的な改正の内容で当院に係るものとしては、第1に病床機能報告制度の創設です。7対1の看護基準や急性期病院として届出しているも、実際は、慢性期の患者さんが多数入院している病院は、今後この報告制度のため急性期病院として認められなくなり、慢性期病院に位置づけられ、入院単価が大きく下がってしまう事態もありえます。

第2は地域医療ビジョンの策定です。神奈川県が策定することになるでしょうが、医療圏ごとに地域性を踏まえた検討が行われます。湘南東部医療圏での当院の立ち位置が明示されることになり、患者さんの医療機関選択の大きな判断材料になると思われます。地域医療ビジョンを策定するため病床機能報告制度に協力し、当院はすべての病棟が急性期病棟として地域医療ビジョンに反映されるように急性期病院としての機能強化を図ります。

第3は、特定機能病院・地域医療支援病院承認要件の見直しです。既存の地域医療支援病院についての扱いはまだ確定していませんが、新基準に伴い、今後はさらに医療機能の分化と連携の推進を行っていく必要があります。登録医制度やかかりつけ医制度をさらに拡充し、地域の医療を守っていきます。

第4は、地域の実情に応じた医師・看護師等の確保対策です。当院はまだ100%満たされているとはいえませんが、看護学校運営関与など引き続き努力してまいります。

第5は、職員の勤務環境の改善です。患者さんに安心して良質な医療を提供できるように職員がそれぞれ持てる力を十分に発

揮できるような働きやすい職場整備を進めます。

徳洲会病院が移転した今、茅ヶ崎市内唯一の400床以上の病院として市民、患者さんのために安心して診察、治療が受けられるよう機能を充実させていきます。

おわりに

当院の職員は、医師、助産師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、栄養士、臨床工学技士、理学・作業療法士、言語聴覚士、医療専門の事務等、総数500人以上、非常勤も含めれば700人以上となりました。毎年のことですが、本年もすべての職種で優秀な人材を採用していきたいと考えています。

また、癌治療の充実、周産期医療の充実、救急医療体制の拡充、災害時医療への日頃の準備、地域医療連携の強化、市民の健康管理への対応、安全管理への心構えなどさらなる充実を目指します。今後も皆様のご支援宜しく願います。